HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	［北大は新入生を歓迎する］： 先生からのメッセージ
Author(s)	北村, 清彦; 金沢, 英之; 岡田, 信弘 他
Citation	リテラポプリ, 44, 11-14
Issue Date	2018-10-05
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/71631
Type	article
File Information	litterae44_11_14.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

先生からのメッセージ

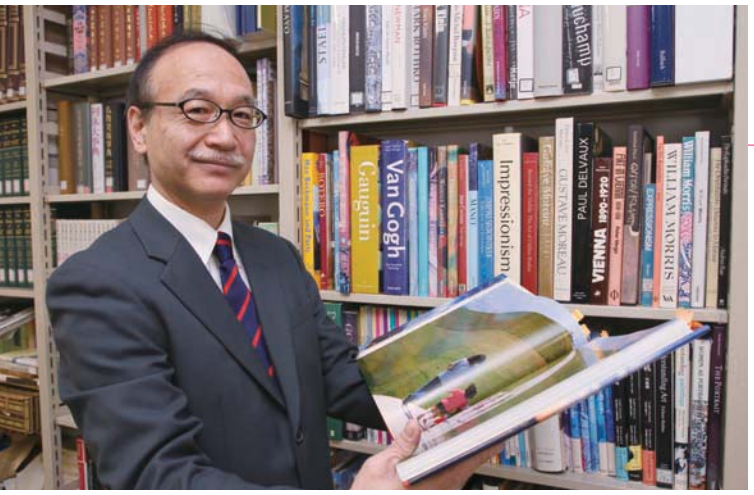
十一人の先生からの、新入生へのメッセージです。
フリー・メッセージと三つの質問に答えていただきました。

❶学生時代にぜひやってほしいこと
❷学生に読んでほしい本
❸現在の研究テーマ

北村 清彦

Kitamura Kiyohiko

所属：文学研究科
担当科目：芸術と文学・
北海道立近代美術館に学ぶ



「憧れ」の対象を見つけ出すこと。
それを現実のものとするための
努力を惜しまないこと。
しかしたとえ達成できなくても
決して絶望しないこと。
そしていつの日か、
君自身が「憧れ」の対象となること。

❶「実践」と「思索」、「経験」と「理論」、「現実」と「理想」、こうした反発しあう磁場に身を置き、その中から自らの方位を見定める。つまり、何でも考え、かんでも知って、何でもかんでもやってみよう、ってことかな。

❷山田晶『アウグスティヌス講話』（講談社学術文庫）。これは単なる概説ではなく著者の深い思索が展開されている名著です。翻訳でもよいのでできる限り原典と格闘し、それを自身の生きることと考えることの糧としましょう。

❸芸術を理解することの意義と方法を、美術、音楽、文学、建築などの事例を通じて考察する「芸術解釈学」が専門です。だからいつも心のなかにアートがあります。heartのなかにheARTがあります。

金沢 英之

Kanazawa Hideyuki

所　　属：文学研究科
担当科目：日本文化論

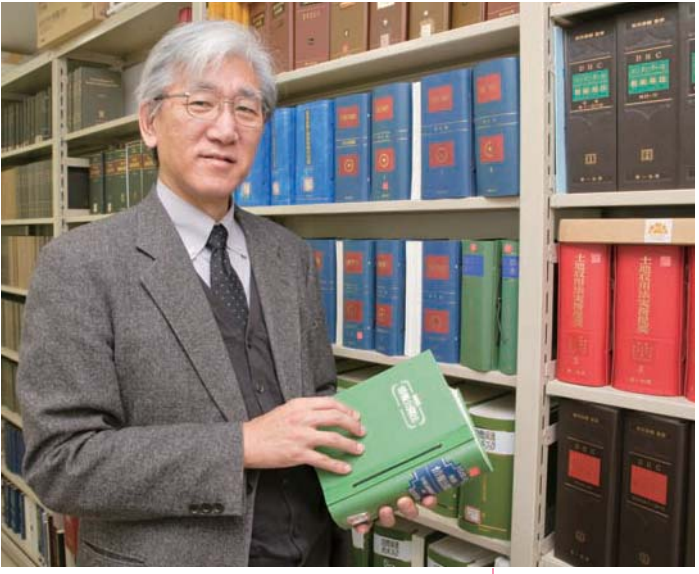


人間と人間が生きる世界に関係のない学問はありません。
どんな分野でも、勉強することは自分を知ること。
何のための勉強か忘れそうになったら、
それを思いだしてください。

❶勉強以外にありません。私自身は大学生の頃は生物学を専攻していました。現在の専門とは全く異なる分野でしたが、勉強して無駄だったと思うことはひとつもありません。

❷中野美代子『中国の妖怪』（岩波新書）。小難しい古典（しかも漢文）を読むことの先に、これほどまでに楽しい世界が広がっていることを教えてくれたいくつかの本のうちの一冊。

❸『古事記』をはじめとした日本上代文学の研究。および、上代に書き記された神話的な言説が、歴史を通じてどのように生きつづけてきたか、ということを考えています。



大事なことは、今から始まる大学生活を含めて、これからの人生をどのように生きるかだと思います。「出会い」を大切にしてください。先生、友人、授業、本、音楽など、皆さんの「心を動かす」いろいろな「モノ」が大学にはあります。

岡田 信弘
Okada Nobuhiro
所属：法学研究科
担当科目：日本国憲法、平和の学際的研究

❶月並みですが、活字を読むこと、考えること、表現すること、そして内向きでなく、外に向かって、あるいは外に開かれたいろいろな活動をしてください。

❷洋の東西を問わず、いわゆる「古典」と呼ばれている本をできる限り数多く読んでください。一冊だけ推薦しておきます。日本戦没学生記念会編『新版　きけ　わだつみのこえ―日本戦没学生の手記―』（岩波文庫、一九九五年）です。もう既に読んだ人もいるかもしれませんが、まだの人は、大学生活を始める今だからこそ読んでおいたほうがよい本だと思います。

❸憲法の中の、とくに「統治」に関わる諸問題を研究しています。例えば、選挙制度、二院制、議院内閣制などです。



小さなことでも不思議に思うこと、心の底から感動すること、思いっきり笑えること、他の人のために悲しむべきことを、本、友人、そして世界の中から探し続けて下さい。

鈴木 恵二
Suzuki Keiji
所属：情報科学研究科
担当科目：情報学Ⅱ

❶小さなことでも不思議に思うこと、心の底から感動すること、思いっきり笑えること、他の人のために悲しむべきことを、本、友人、そして世界の中から探し続けて下さい。

❷興味が湧く授業に出会えたらもっと深く学べる本を、苦手な授業では理解を助ける本を先生に尋ねましょう。授業と組み合わさった本の知識は別格です。あなたの一生の柱となります。

❸人とコンピュータが協調して「文殊の知恵」を作り出す方法論、専門用語でいうと集合知、マルチエージェントについて研究し、ロボットや情報社会への応用を目指しています。

自分の「壁」を打ち破ろう。
苦手なこと、人、勉強など「壁」は
やがて言い訳になり発展を妨げます。
自分の壁を常に壊す工夫と努力により
あなた自身の世界を広げ続けよう。

大学時代からそれに続く二〇代の時期というのは、自分がどこまでできるか試しながら、自分の精神的肉体的限界を見極める時期です。この時期にどこにまで至れるか、ひとつの大きな勝負どころです。

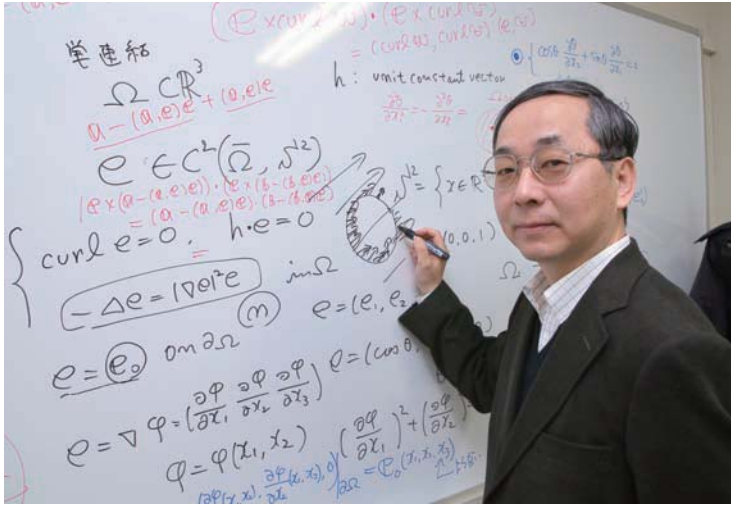
藤原 正智
Fujiwara Masatomo
所属：地球環境科学研究院
担当科目：地球惑星科学Ⅱ

❶他者とのさまざまな関係を経験し分析することで、物事を考えたり判断したりする際の自分なりのぶれない指針を見つけること。

❷トーマス・マン『魔の山（上）（下）』（岩波文庫）、吉本隆明『高村光太郎』（講談社文芸文庫）、ライアル・ワトソン『アースワークス』（ちくま文庫）

❸力学、放射、光化学等諸過程の結合系である地球大気の総合理解を目指しています。特に、地球大気の状態を正しく測定するための測定器、測定システム、測定ネットワークなどについて考えています。





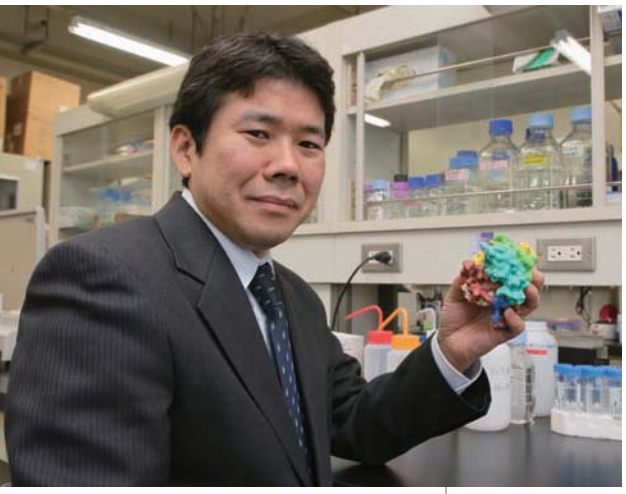
岩﨑 克則

Iwasaki Katsunori

所属：理学研究院
担当科目：微分積分学Ⅰ微分積分学Ⅱ

もういちどみなさんの年代に戻れたらどんなによいだろうとうらやましいかぎりです。いろいろ楽しいことも苦しいこともあるでしょうが、夢に向かって歩んでいってください。

1. まずは、自分の専門の勉強をしっかり行うという、当たり前だけれど、とてもむずかしいことをあげたいと思います。それぞれにあったやり方をみつけていくとよいでしょう。
2. 数学や科学に関する歴史・物語。たとえば、加藤文元『物語 数学の歴史』（中公新書）、米沢富美子『人物で語る物理入門』（岩波新書）、竹内敬人『人物で語る化学入門』（岩波新書）、高瀬正仁『高木貞治 近代日本数学の父』（岩波新書）、サイモン・シン『フェルマーの最終定理』（新潮文庫）など。
3. 数学。いろいろかじってきましたが、今は百年余り前に発見されたパンルヴェ方程式という微分方程式を、力学系理論や代数幾何学と呼ばれる現代的な手法で研究しています。



前仲 勝実

Maenaka Katsumi

所属：薬学研究院
担当科目：化学Ⅰ

1. 高校生から大学生になり、もっと自由に学業にも遊びにも打ち込めるでしょう。ぜひ何事にも積極的に取り組んで多様な経験を積んでもらいたいと思います。
2. 昔、物理の先生に勧められた本が中谷宇吉郎『科学の方法』で（まさか自分自身が北大の先生になるとは思いませんでした）、今でもたまにですが、読み返すときがあります。
3. リウマチなどの自己免疫疾患や、ヘルペスウイルスや麻疹ウイルスなどの感染症に関わるタンパク質の研究を進め、タンパク質の形を見ながら薬物の開発を目指しています。

いつでも〝チャンス〟は目の前に現れると思います。小くても大きくても希望や理想に向かって、常に心の準備をしておいてほしいです。また、仲間や先生・先輩・後輩との〝縁〟を大切にしてもらいたいと思います。



志村 華子

Shimura Hanako

所属：農学研究院
担当科目：〈環境と人間〉
生命の基盤を支える共生システム
―生態系から個体レベルまで―

自分が好きなことや自分に合うものを探して出会ってほしいです。好きなことなら続けられるし、大変なことにぶつかっても楽しさを忘れずに頑張っていけると思います。

1. 幅広い人間関係を作ると良いと思います。大学では自分とは全く違った興味を持つ人達にたくさん出会えます。多くの出会いがみなさんの視野を大きく広げてくれると思います。
2. 特定のものはないのですが、日本語を学べる本。理系文系に関わらず必ず日本語が必要になります。正しく日本語が使えることは学生生活でも社会にでてからでも役立ちます。
3. 植物が好きなので、基本的に植物の研究をしています。変化する環境の中で植物がどのように適応し、他の生物や微生物と共存しているのかということに興味をもっています。

高見 敏子
Takami Satoko

所属：メディア・コミュニケーション研究院
担当科目：英語Ⅰ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、英語再履修、英語演習

何でもやってみてください。
もしかしたら
できるかもしれませんから。



1. 何でも結構です。「学生時代、これだけはやった」と胸を張って言える「何か」を残しましょう。
2. 北大卒業生アンケートの「学生時代にやっておけばよかったこと」第一位は「英語」だそうです。そこで、北図書館2階の英語多読図書（写真）を2年間で100万語、読んでみてください。楽に読める好きな本を選ぶこと。英語が「楽しみ」に変わりますよ。
3. コーパス（文章を大量に集めてコンピュータで扱えるようにしたもの）を利用した現代英語の研究と英語教育への応用です。英語の多読・多聴指導のプロジェクトにも取り組んでいます。

渡辺 将人
Watanabe Masahito

所属：メディア・コミュニケーション研究院
担当科目：社会の認識「オバマ時代の日米関係」、英語演習「現代アメリカ政治論」

作家志望の文学青年だったバラク・オバマは、
学生時代、詩と小説の創作に没頭することで
世界と自分の接点を模索しました。
人生で決して譲れない「価値」が何なのか、
自分なりの哲学を見つけてから社会に出て下さい。



1. 自分探し大いに結構。迷いや怒りも大切。自己責任で自由を謳歌してください。一人の友、一つの夢に出会えれば、それだけで素敵です。
2. 例えばモーリー・ロバートソン『ハーバードマン』。書を持ち旅に出よ。アジアの時代だからこそアジアの外側の世界も必ず訪れよう。アジアと日本（＝自分）を見つめる最良の方法です。
3. 政治学（現代米国政治）が専門です。米国は二大政党制ですが、政党をまたいで偏在する保守とリベラルの思想や運動も政治の原動力です。選挙過程から米国の多様性を解明します。

東藤 正浩
Todoh Masahiro

所属：工学研究院
担当科目：基礎物理学Ⅰ

これから始まる学生時代の経験
を糧に、他の意見を尊重しつつ、
自分自身しっかりとした考えを
持つことのできる「芯の強い」人
間になってほしいと思います。



1. 体力的にも精神的にも最も充実した自由な時間です。学問に限らず、何かに熱中してみてください。その経験と自信が人間性を広げ、今後の人生にきっと役立つでしょう。
2. 知識や経験があってこその、読書だと思っています。是非、多くの本に触れ、共感できる本に出会ってください。また、きれいな「日本語」を大事にして欲しいと思います。
3. 生体の構造や機能を力学的に解析する「バイオメカニクス」を専門としています。特に、「骨の加齢」をテーマに、その力学的現象の解明や診断手法の開発に取り組んでいます。